

◎山田憲昭市長

公民館整備に伴う防災倉庫の設置についてお答えをいたします。

市では、老朽化した公民館の整備を計画的に進めることとし、令和2年3月に、防災コミュニティセンターとして湊公民館が完成をし、本年度は、笠間公民館並びに宮保公民館を防災コミュニティセンターを兼ねて整備いたしております。

また、旧耐震基準の公民館は、計画的に改築をしていくこととしており、旧耐震基準の柏野公民館及び中奥公民館につきましては、マンホールトイレや自家発電設備、EV車の充放電設備、防災倉庫等の防災機能を有したコミュニティセンターとして整備をしてまいりたいというふうに考えております。

災害時に避難所となる公民館の多くには、防災備蓄品を保管するための専用倉庫が現在、設置をされておられません。このことにつきましては、以前から早急に対応すべきであると認識をいたしておりました。

災害時に地域の防災拠点となる地区公民館には、防災備蓄倉庫が必要であるというふうに私も考えております。公民館との配置関係や敷地の広さ、形状、また財源など課題を整理した中で、計画的に整備ができるよう検討してまいりたいというふうに考えております。